

平成29年11月

各位

日本法科学技術学会
理事長 橋本 良明

賛助会員募集に関わる趣意書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、日本法科学技術学会の活動に対し格段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学会は法科学技術に関する学術の進歩発展、活発な学術交流の促進に寄与することを目的に、平成7年12月12日に「日本鑑識技術学会」として設立され、平成17年2月1日に「日本法科学技術学会」と名称変更され現在に至っております。この間、本学会は毎年学術集会を開催し、学術論文誌を年3号発行するなど、堅実な発展を遂げ、会員数も1,600人を超えております。

本学会の学術分野は、法生物、法薬毒物、法化学、法工学、法文書、法心理、現場鑑識などの広範囲な領域にわたっており、それぞれの分野での専門家の交流を深め、さらに幅広い先端技術の導入による法科学の発展に努めております。特に、会員の所属が、警察などの公的機関、大学、各種研究機関、企業などと多様化していることは、本学会が広く公正な立場で順調に発展している証であると自負しております。

現在、本学会の趣旨にご賛同いただいた21団体の方々が賛助会員となられており、学会活動にご支援いただいておりますが、今後の発展を図る目的で、さらなる賛助会員の募集をさせていただいております。本学会といたしましても、新たな賛助会員の皆様のご支援により一層の学術的発展を遂げ、社会に貢献する学会を目指して努力する所存でありますので、なにかとご多端の折、誠に恐縮に存じますが、本趣旨にご賛同いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白